

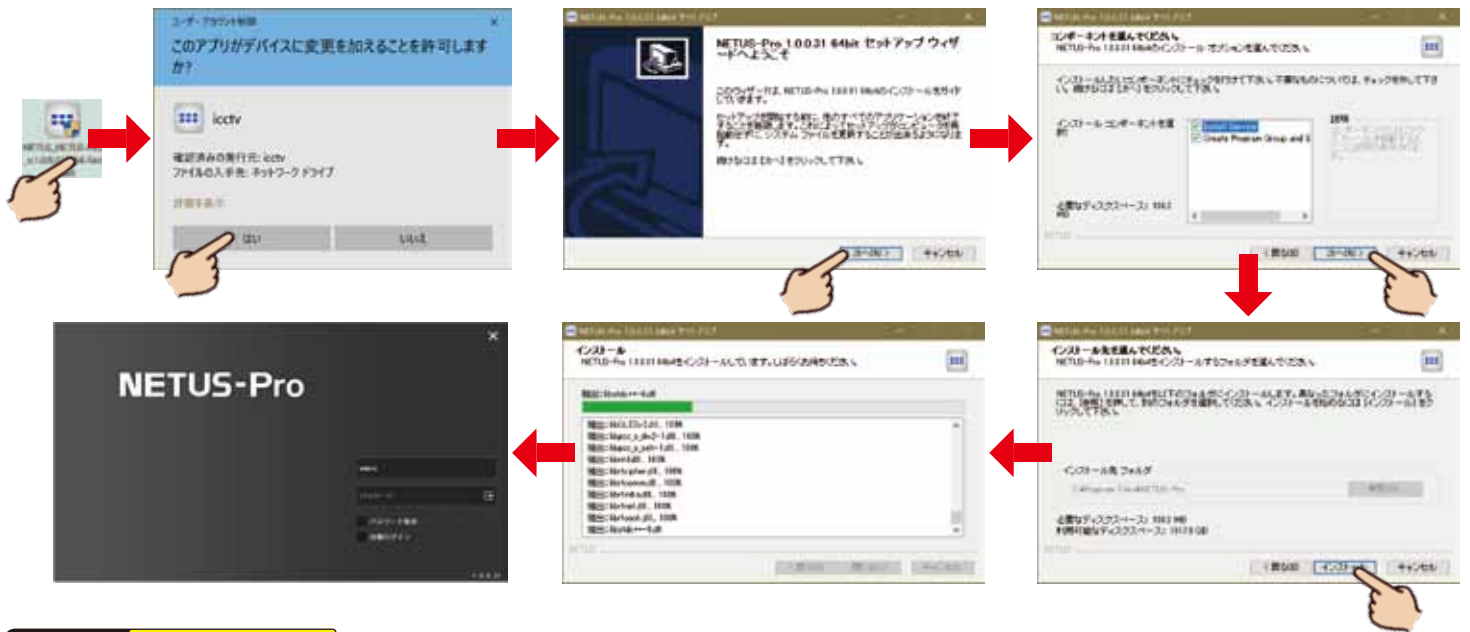
NETUS-Pro

ネットス・プロ

手順1 インストール

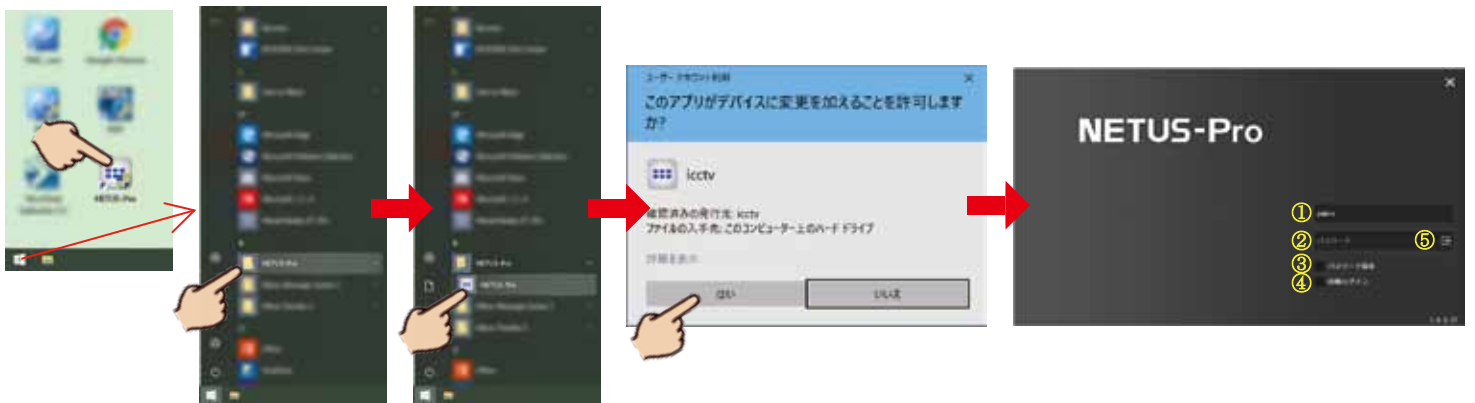
製品に付属している CD-ROM から、クライアントソフト **NETUS-Pro** をインストールします。

注意 ソフトは **Windows 版** と **Mac 版** があり、また Windows 版には **32bit 版** と **64bit 版** があります。使用する PC 環境に合わせてお選び下さい。お使いの PC が 32bit 版か 64bit 版かは、Windows の「コントロールパネル」→「システム」でご確認頂けます。



手順2 起動と終了

NETUS-Pro をスタートメニューまたはデスクトップのアイコンから起動します

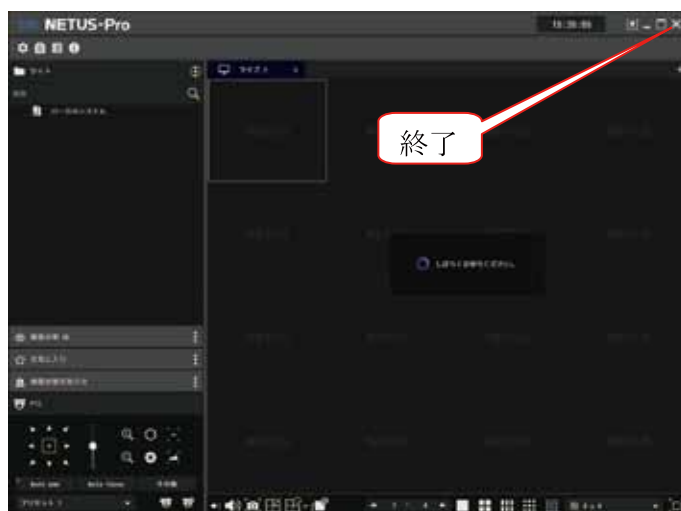


- ① ログイン ID：NETUS-Pro を操作する為のユーザーのユーザー ID を入力します。管理者のユーザー ID は **admin**
- ② パスワード：パスワードを入力します。初期の管理者パスワードは **111111 (数字のイチが7個)** です
- ③ パスワード保存：チェックすると、次回のログイン時から **パスワードが入力された状態** で表示されます。
- ④ 自動ログイン：チェックすると、次回から **ユーザー ID とパスワードの入力を省略** する事が出来ます。

注意 ここで使用するアカウントは NETUS-Pro 専用のもので Windows や機器 (DVR・NVR 等) にログインする為のアカウントとは別のものです。また NETUS-Pro は、ログインするユーザー毎に操作範囲を設定することが出来、パスワードの登録 / 変更手順は機器添付の CD-ROM 内に収録されている、NETUS-Pro 日本語取扱説明書を参照下さい。

NETUS-Pro を用いての PC での遠隔接続は、PC スペックや双方のネットワーク環境、回線速度、回線コンディションやネットワーク機器、データ量などの面から **常時接続** には適しません。1日1回以上または必要に応じて PC 並びに NETUS-Pro の **再起動** が必要となります。

NETUS-Pro を**終了**する場合、タイトルバーの右端（ウィンドウ右上）にある **✕ 終了アイコン** をクリックします。

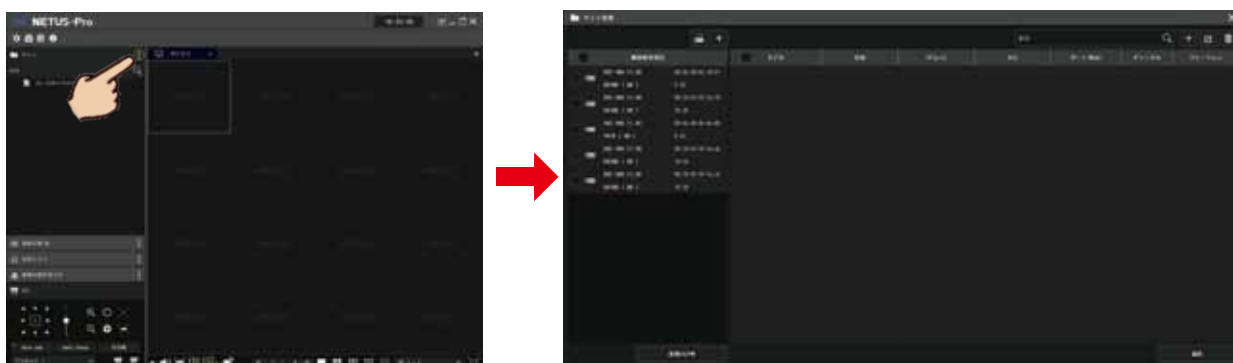


手順3 デバイス登録

レコーダーの登録方法は NETUS-Pro が動作している PC と登録しようとしているレコーダーとの IP ネットワーク上の位置関係等の条件によって、**同一ネットワーク内にあるレコーダーを登録**するのか、それとも**異なるネットワーク内 (VPN 及びインターネットの固定 IP を含む) にあるレコーダーを登録**するのかによって手順が異なります。

① NETUS-Pro と接続しようとしているレコーダーが同一ネットワーク内にある場合、**機器検索機能**を使って接続する事が出来ます。

機器登録 ボタンをクリックし**サイト管理ウィンドウ**を開きます。



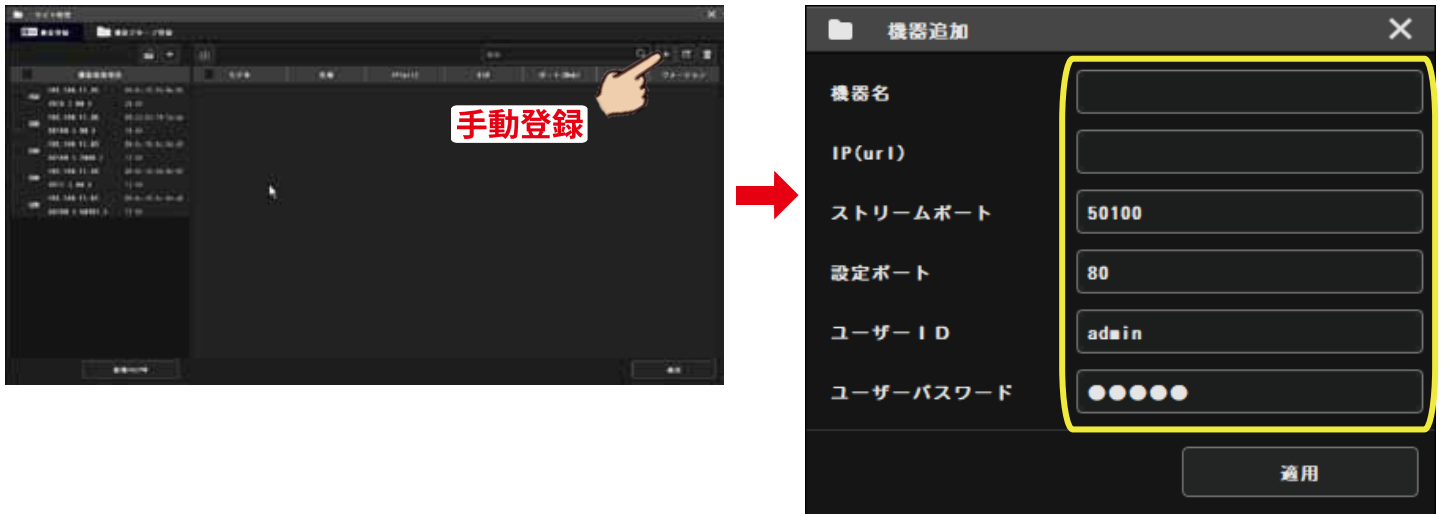
② 左側のフレームに表示されるレコーダーは同一ネットワーク内に存在するレコーダーです。再検索の際には **🔍** をクリックして下さい。

登録を行うレコーダーにチェックを入れ、**+ 機器自動追加** をクリックして下さい。






注意 ローカル検索でのレコーダーの登録には、事前に NETUS-Pro に登録されたユーザー ID とパスワードのレコーダーに限ります。初期値以外のユーザー ID とパスワードを利用する場合、事前に**初期 ID/PW** の変更を行って下さい。

3 別のネットワークやインターネット経由、VPN で接続されたレコーダーを登録する場合、**手動登録**が必要です。右上の**+**をクリックし登録ウィンドを開き、以下の6つの登録情報を入力し最後に**提要**を押して下さい。



- ① **機器名**：登録するレコーダーを区別する為、登録名称を自由に付けて下さい。
- ② **IP(url)**：レコーダーの IP アドレスまたは URL を入力して下さい。
- ③ **ストリームポート**：レコーダーに登録されているクライアントポート番号 **8000** を入力して下さい。
- ④ **設定ポート**：レコーダーに登録されている Web ポート番号 **8001** を入力して下さい。
- ⑤ **ユーザー ID**：レコーダーに登録されているユーザー ID **admin** を入力して下さい。
- ⑥ **ユーザーパスワード**：レコーダーに登録されているユーザーパスワード **@tkw1212** を入力して下さい。

4 警告アイコン「」が表示された場合、登録情報を間違えている場合があります。
 警告アイコンの付いたレコーダー **1つにチェック**を入れ  **機器変更** ボタンをクリックし情報を訂正して下さい。
レコーダーの登録が完了したら**適用**をクリックしウィンドを閉じて下さい。

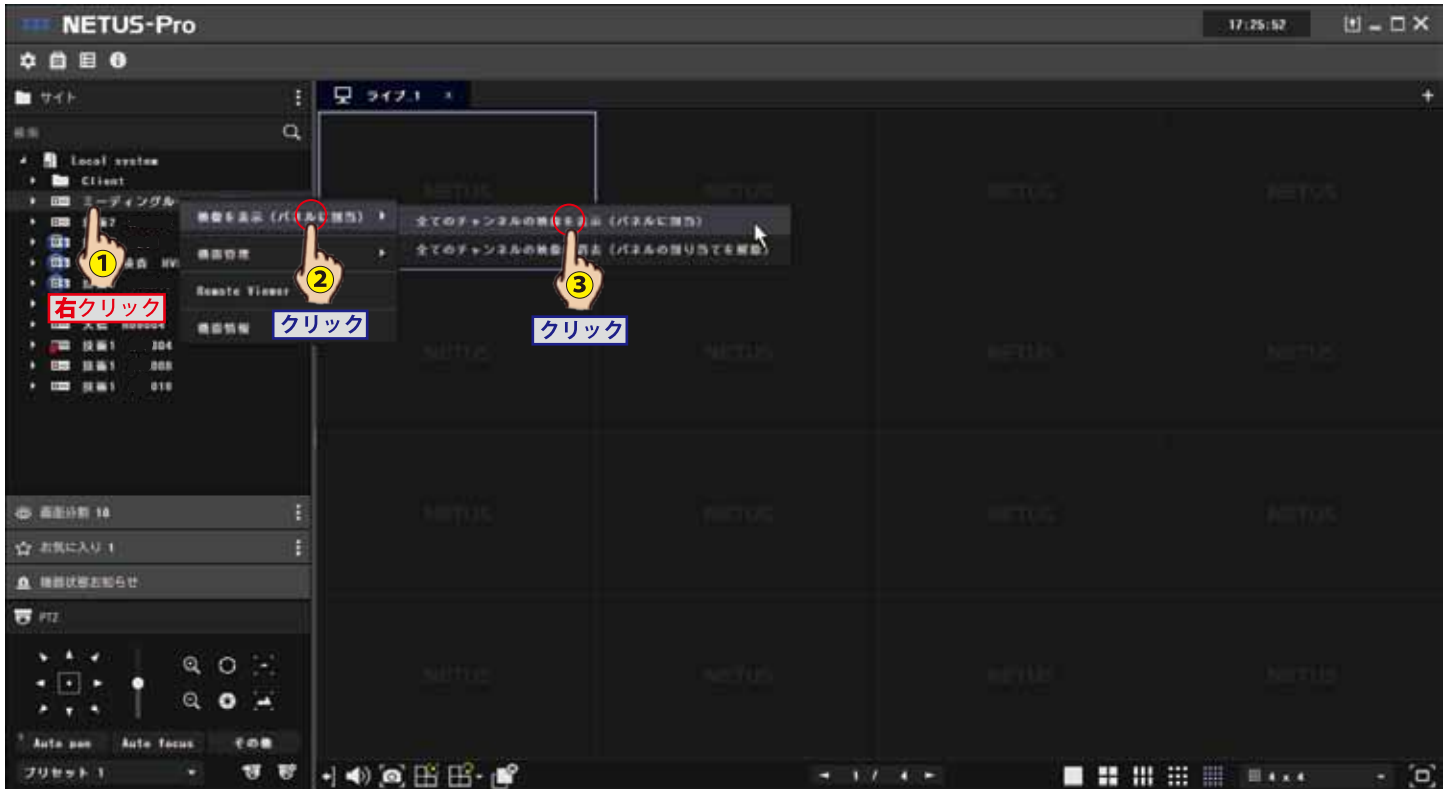


手順4 ライブの開始と終了

NETUS-Pro 起動直後はライブパネル (ライブモード) が開き、前回まで接続していたデバイスに再接続しライブ映像を映し出します。前回接続していたデバイスが無い、または接続先と繋がらない場合は何も映し出されません。

ライブ映像の開始


ライブ映像を映し出したいレコーダーの名称を**右クリック**し **映像を表示 (パネルに割当)** → **全てのチャンネルの映像を表示 (パネルに割当)** を選択します。



ライブ映像の終了

ライブ開始と同じくライブ映像を停止したいレコーダーの名称を右クリックし **映像を表示 (パネルに割当)** → **全てのチャンネルの映像の消去 (パネルの割当を解除)** を選択します。



または  表示オフ (パネルの割当を解除) アイコンをクリックします。このアイコンは押すと表示中の全ての表示を一斉に停止 (非表示) する事が出来ます。

特定のチャンネルのみ非表示

非表示したい場合はチャンネルの右上の[×]をクリックします。

チャンネルに接続されているマイクを ON するにはチャンネルの右下に表示される [スピーカーアイコン] をクリックします。PC のスピーカーから音声流れますので、PC のオーディオ設定を行って下さい。



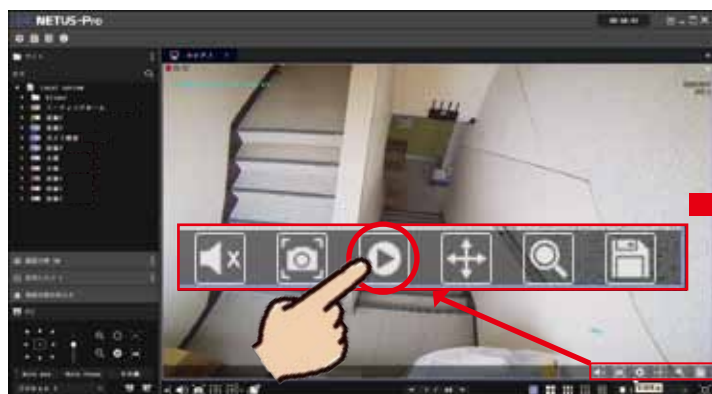
NETUS-Pro では異なるデバイスの映像を **1画面に最大 64** チャンネルまで同時に映し出す事が出来ます。但し PC スペック (特にビデオカードのスペック)、ネット環境、回線速度や品質に大きく依存します。

手順5 再生

NETUS-Pro 起動直後はライブパネル (ライブモード) が開きます。再生には 1 チャンネルのみを最も新しい日付の近々 5 分～ 10 分前から再生する **即時再生** と、日付と時間帯を検索して再生する **通常再生** の 2 つがあります。

即時再生

- 1 ライブパネルにライブ映像を映し出し、目的のチャンネルをダブルクリックし 1 画面表示にし、画面右下のアイコンから [再生] 即時再生アイコンをクリックします。
即時再生モードに切り替わり再生が開始されます。
接続と検索を同時に行う為、多少時間がかかります。また被写体及び録画条件によって即時再生の開始される時間はチャンネルによって前後します。



- 2 即時再生を終了しライブ映像に戻るには、即時再生の画面上にマウスポインターを合わせ左クリックし即時再生モードを終了をクリックします。

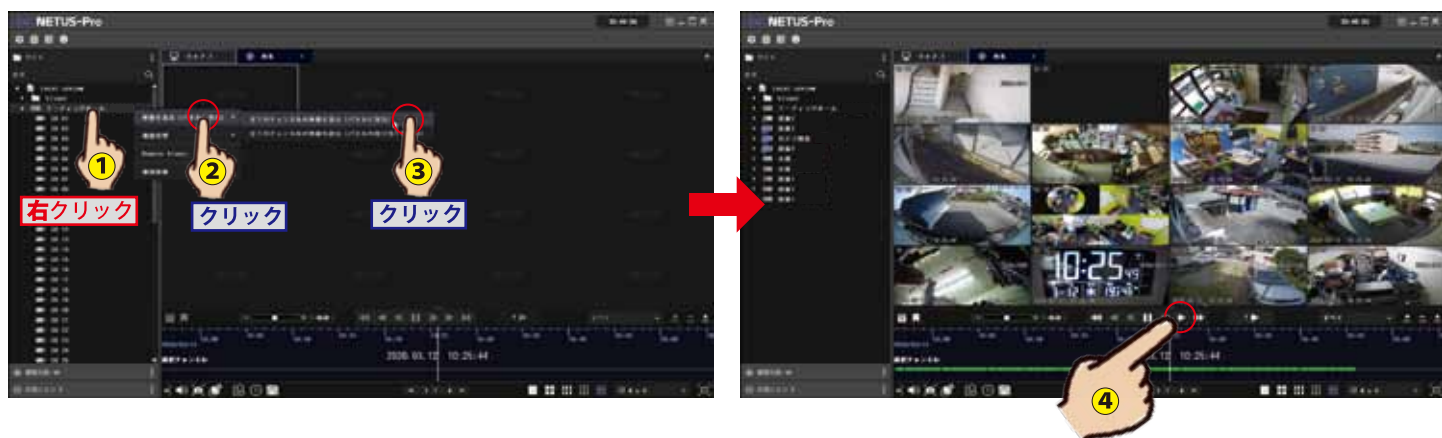


通常再生

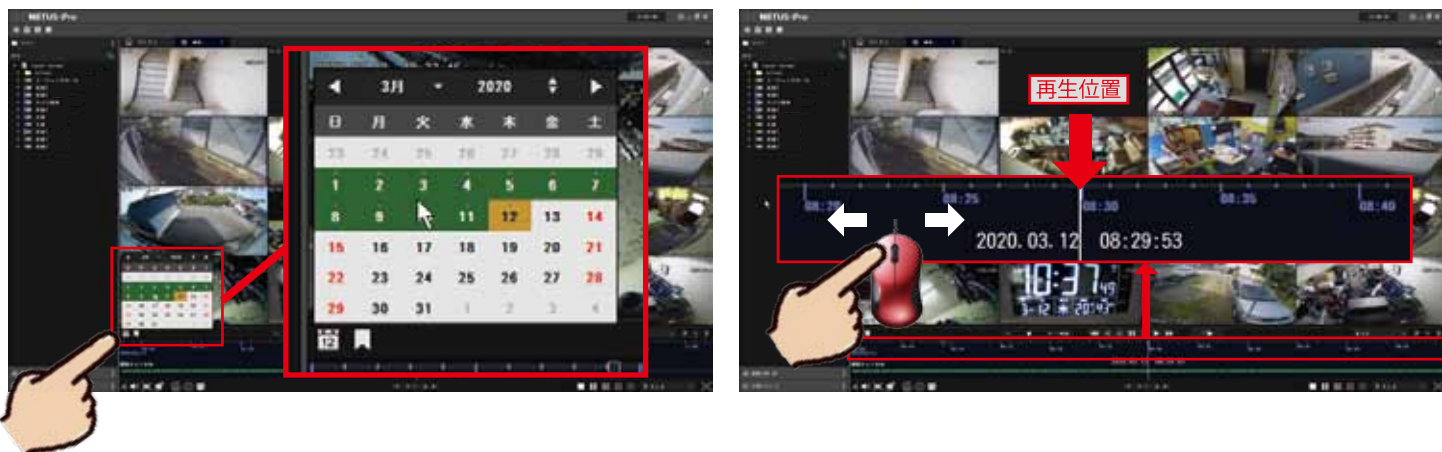
- ① ライブパネルにライブ映像を映し出したままの状態でも再生は可能ですが、バックグラウンドで常に大容量のデータを受信し続ける状態が続く為、PCスペックはもちろん通信回線速度も低下しそれに伴い再生機能も低下します。可能な限り**ライブ映像は停止**した状態で再生を行って下さい。
- ② タブ追加ボタンをクリックし表示されるメニューから再生（上から2番目）をクリックします。





- ③ 再生したいレコーダーの名称を**右クリック**し **映像を表示 (パネルに割当)** → **全てのチャンネルの映像を表示 (パネルに割当)** を選択します。レコーダーに接続し約20分前の映像が映し出されますので **再生** をクリックします。
この「20分前」は再生パネルを開いた段階での時間となります。




- ④ **日付を指定**して再生したい場合、**12** カレンダーアイコンをクリックし日付を選択します。
時間帯を指定したい場合、タイムバー上でマウスの左クリックボタンを押したままの状態
左右に移動 (ドラック) します。




- 5 タイムバーの表示スケールはデフォルトで1時間です。変更する場合はタイムバー右上の  +/−アイコンを押します。
またタイムラインはデフォルトでは録画状態のトータルが表示されています。チャンネル毎のタイムラインを表示する場合は  タイムライン拡張のアイコンをクリックします。

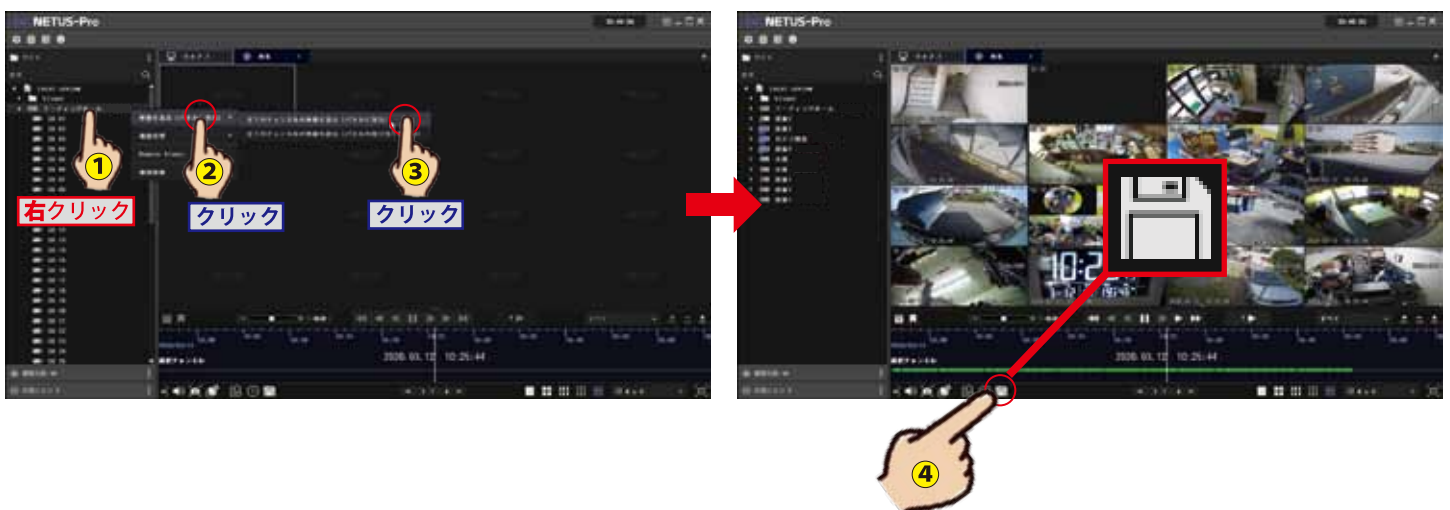


- 6 事前に再生したい日付と時間帯がわかっている場合、**直接検索**する事が出来ます。デバイスを選択するまでは通常再生と同じです。その後  日時指定検索アイコンを押し日付と時間を入力し **検索**を押します。



手順6 バックアップ

- 1 手順5 再生 の通常再生 (p6) の ①② でライブパネルから再生パネルを開き
3 に沿ってバックアップを行いたいレコーダーを再生パネルに表示させ
画面下中央の  バックアップアイコンをクリックします。



② バックアップを行うチャンネル (カメラ) にチェックを入れ、以下の必要条件を設定し最後に**開始**をクリックします。

■ **機器名**：選択されているレコーダーの登録名称が表示されます。ここに表示される名称がバックアップフォルダに表示されます。ユーザーが変更する事も可能です。

■ **ファイル名**：**予定機能**の為、反映されません。空欄のまま次へ進んで下さい。

■ **パス**：バックアップファイルを収納する PC の場所を設定します。デフォルトではビデオフォルダが設定されています。ユーザーが変更する事も可能です。

■ **ファイル形式**：バックアップファイルの保存形式を RMS または AVI から選択します。デフォルトでは RMS が選択されています。

【RMS】機器専用の動画ファイル形式です。録画された日時表示と一緒に複数のチャンネルの映像を同時に見ることが出来ます。録画映像の再生には Windows 用の専用ソフトウェア「BackupPlayer」が必要です。「BackupPlayer」はバックアップ時に同時にインストールされます。Windows 以外の OS での再生はサポートされていません。


注意：BackupPlayer や製品付属の CD-ROM 内にも収録されています。

【AVI】一般に広く普及した汎用の動画ファイル形式です。複数のチャンネルの映像を同時に再生することが出来ません。録画映像の再生には汎用の H.264・H.265 コーデックの AVI ファイルを再生可能な動画再生ソフトが利用出来ます。

注意：BackupPlayer では AVI 形式のファイルを再生することは出来ません。Windows 以外の OS であっても、H.264・H.265 コーデックの AVI ファイルを再生可能な動画再生ソフトがあれば再生出来ます。

■ **開始日時と終了日時**：バックアップを開始する日時と終了する日時を設定します。

注意：ファイルサイズや PC 及びネットワーク環境から、長時間のバックアップや日をまたいでバックアップはエラーが出る可能性が高くなります。

■ **予測サイズ**：バックアップされるファイルの大きさを予測します。多チャンネルの動画を長時間バックアップすると、非常に大きなデータになる事から、バックアップを実行する前に PC の記憶装置の空き容量より小さい事を確認してください。データサイズは、バックアップの条件を全て入力し終えてから  **データサイズ確認** アイコンをクリックします。

■ **パスワード**：RMS 形式でのバックアップファイルにパスワードを付ける事が出来ます。チェックボックスにチェックを入れ、お好みのパスワードを入力して下さい。

注意：AVI 形式のバックアップファイルにはパスワードを付ける事は出来ません。

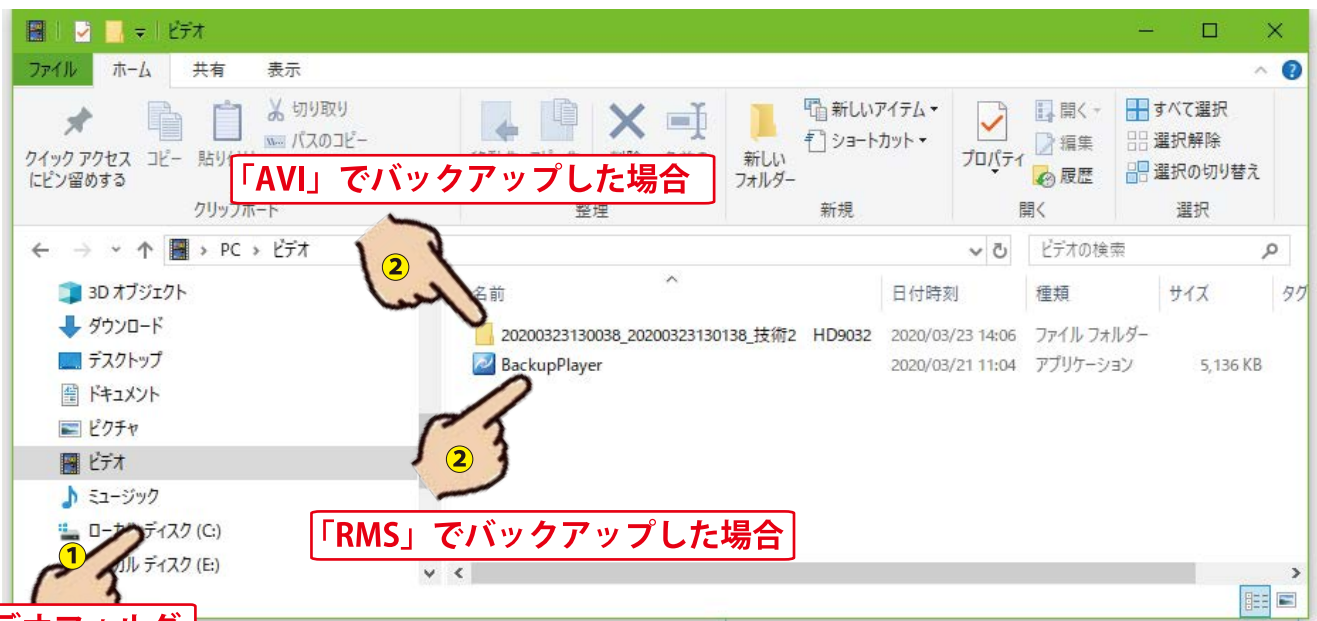


- ③ 選択されているカメラのダウンロードが開始されます。ダウンロードには選択されているカメラの台数、バックアップ期間 (時間)、ネットワーク環境、回線速度や環境、PC スペックなどの条件から、数分から数時間を有します。ダウンロードが完了しますと完了のメッセージが表示されますので**確認**をクリックします。



手順7 バックアップの再生

- ① 通常、NETUS-Pro でバックアップされたバックアップデータは**お使いの PC のビデオフォルダ**に保存されます。




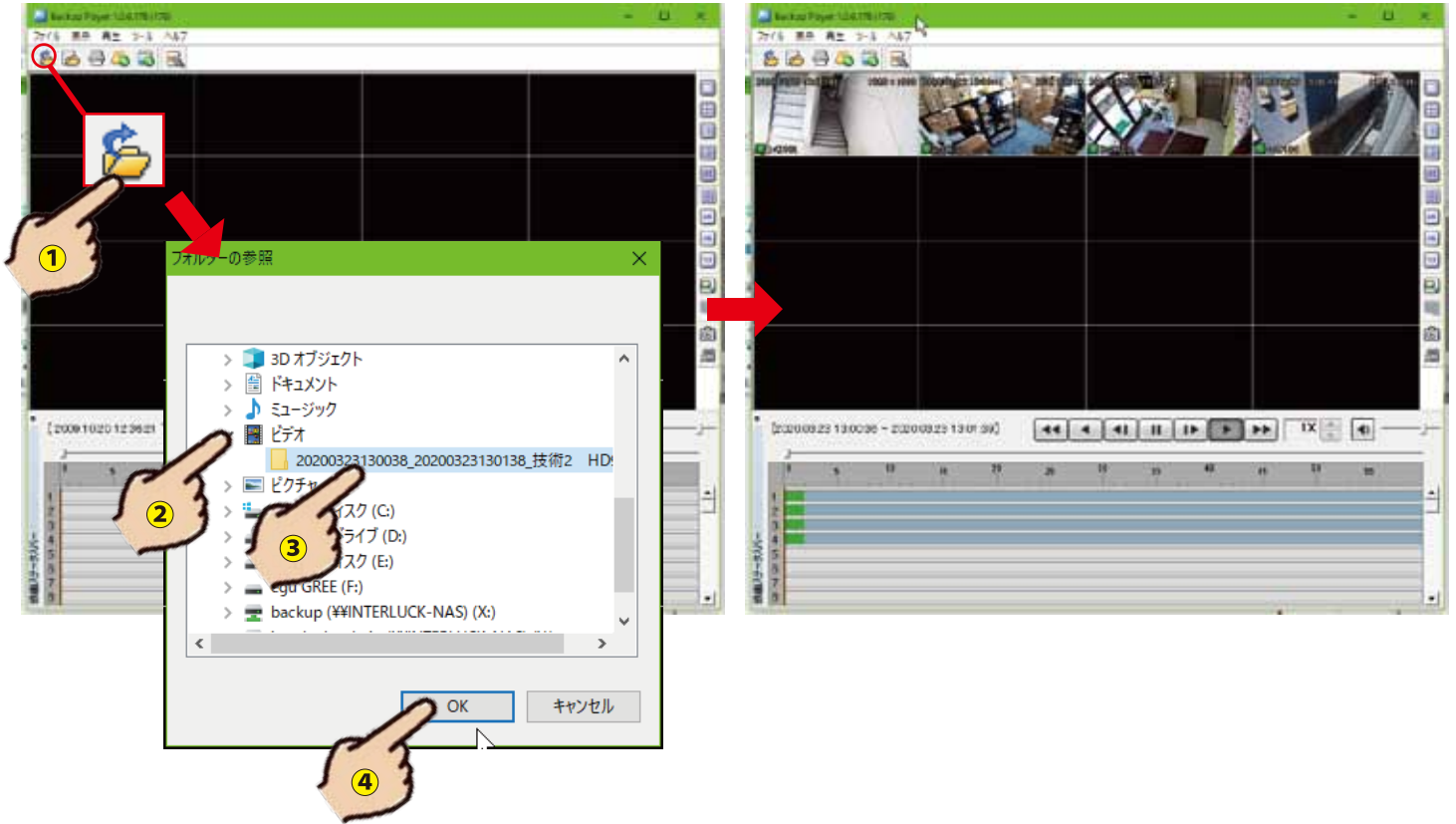
- ② バックアップ条件の日付と時間と機器名でデータフォルダが作られます。ファイル形式が RMS 及び AVI に問わず、専用のバックアッププレーヤー (BackupPlayer) がバックアップと同時にインストールされます。

- ファイル形式が RMS で保存されたバックアップデータの場合、この BackupPlayer を利用できますが、AVI 形式でバックアップされた場合は利用する事は出来ません。
- レコーダーのファームウェア (F/W) が旧バージョンの場合、BackupPlayer が同時にインストールされない場合があります。BackupPlayer は製品付属の CD-ROM 内にも収録されています。同時インストールされない場合はそちらをご利用下さい。

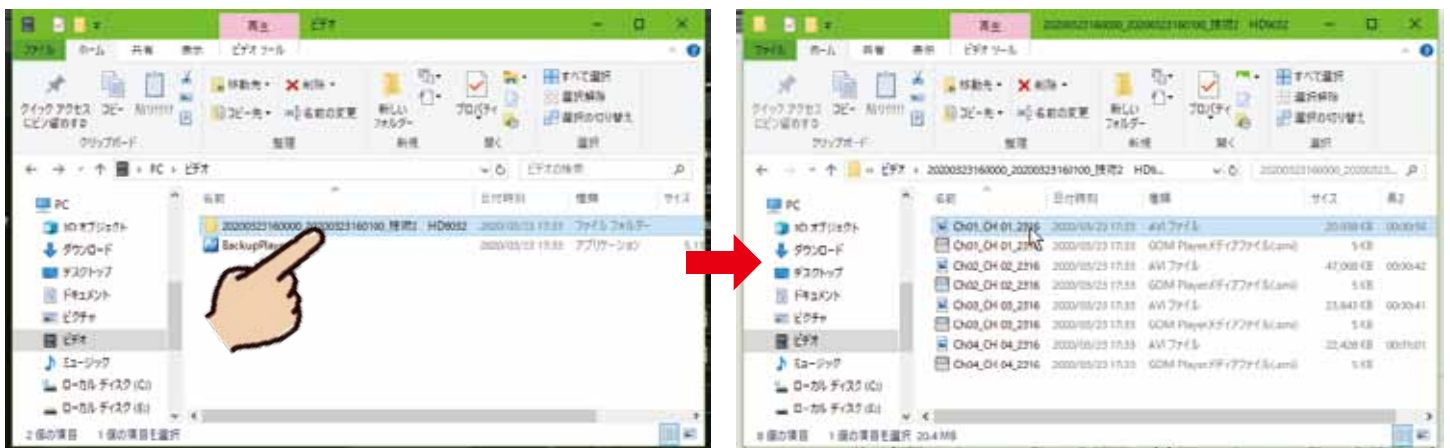
ファイル形式 **RMS** でバックアップされたデータの場合、この BackupPlayer を**ダブルクリック**し **BackupPlayer** を**起動**します。

ファイル形式 **AVI** でバックアップされたデータの場合、BackupPlayer ではなくバックアップデータが保存されている**フォルダ**を**ダブルクリック**し、フォルダの中に入ります。

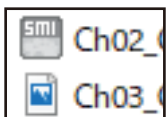
- ③ ファイル形式 **RMS** でバックアップされたデータの場合、BackupPlayer の  フォルダを開くアイコンをクリックし、フォルダー参照からビデオフォルダ内の再生を開始する目的のフォルダを選択。最後に **OK** をクリックします。



ファイル形式 **AVI** でバックアップされたデータの場合、**データが保存されているフォルダ**内の AVI ファイルをクリックすると、PC でデフォルト設定されているプレイヤーソフトが起動し再生が始まります。



- PC にインストールされているプレイヤーソフトで AVI ファイルが再生できない場合、またはレコーダーの画像圧縮が H.265 に設定されている場合は製品に付属の CD-ROM に入っている VLC Player をご利用下さい。
- AVI ファイルと同じフォルダに保存された「SMI」と書かれたファイルは、バックアップ映像に日時を表示する為のものです。このファイルを削除すると日時が表示されなくなります。



←日時データ「削除禁止」

←AVI (動画) データ ※Windows 10 デフォルトのプレイヤーの場合



TOKIWA SYSTEM